

最近の北極に係る国際的な取組

2016年2月3日
外務省
海上安全保障政策室

資料3-1

ケリー米 국무長官主催「北極におけるグローバル・リーダーシップ」会合（2015.08.31 於：アンカレジ）

米国が北極評議会(AC)の議長国に就任したことを受け、ケリー長官が各国外相を招集し主催。オバマ大統領、ケリー長官がそれぞれスピーチを行い、北極に係る諸課題はグローバルな課題であるとともに、米国の国内問題(アラスカ州における自然環境保護等の観点)でもあること、及び気候変動対策には国際社会の団結する必要があることを指摘し、オバマ政権の最重要課題の一つである旨強調。本国会合には白石大使が出席し、今後のACへの貢献強化及び米国との関係強化にむけた取組についてスピーチを行った。



第3回「北極サークル」会合（2015.10.16-18 於：レイキャビク）

グリムソン・アイスランド大統領等が「北極版ダボス会議」を目指して設立した、産官学から多様な参加者が集まる北極に関する会合。10月16日、白石大使が、同日に総合海洋政策本部会合で決定された「我が国の北極政策」につき、およそ400名の聴衆の前で講演。講演では、北極に係る課題に取り組むため、国際社会が団結する必要があるとした上で、我が国として本北極政策の決定を契機に、関係国との協力をさらに強化し、北極にかかる課題に取り組む国際社会に貢献していく旨、述べた。

また、「北極にかかる日本の取組」と題する分科会も実施。白石大使の他、清浦隆・文部科学省海洋地球課長(当時)、深澤理郎・国立極地研究所教授(北極域研究推進プロジェクト(ArCS)・プログラムディレクター)、角南篤・政策研究大学院大学教授によるプレゼンを行った。

ブルッキングス研究所主催：北極セミナー（2015.10.19 於：ワシントン）

米国ブルッキングス研究所が「日本の北極戦略」と題するセミナーを主催。白石大使がおよそ100名の聴衆の前で基調講演を行った(セミナーはYoutubeを通じてネット配信)。基調講演では、「我が国の北極政策」を紹介すると共に、1999年にアラスカ州に設立された国際北極圏研究センターに代表される、北極に係る日米協力を推進する旨述べ、北極政策を日米協力の新たな柱のひとつとすべく、米国との連携強化を強調。



(出典：NHK)